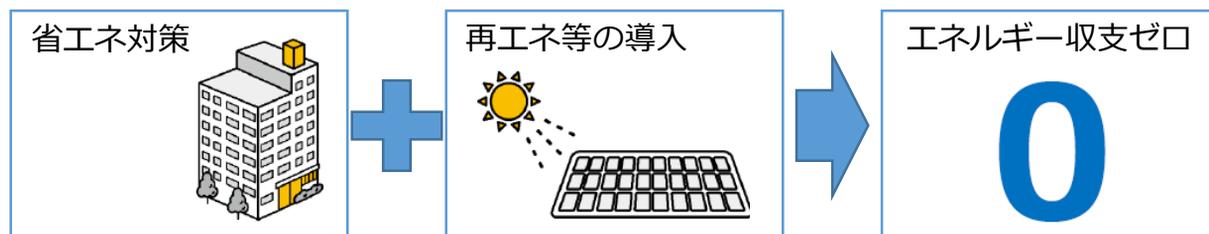


## ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）とは

省エネ対策により、**一次エネルギー消費量を削減**した上で、**再生可能エネルギー等の導入**によりエネルギー収支をゼロにすることを目指した建築物です。



ZEBには4段階の定義があり、ZEB ReadyとZEB Orientedについては、再エネ設備を導入しなくても、エネルギー使用量の削減によりZEBランクを達成することができます。

ZEBランク	建物用途	一次エネルギー消費量削減率	
		省エネのみ	創エネ含む
『ZEB』	すべて	50%以上	100%以上
Nearly ZEB	すべて	50%以上	75%以上
ZEB Ready	すべて	50%以上	—
ZEB Oriented (※1)	事務所、学校等	40%以上	—
	上記以外用途	30%以上	—

- ※1 延べ床面積10,000m<sup>2</sup>以上の建物が対象。規定された省エネ量+未評価技術の導入が必要。
- ※2 省エネ効果は認められているが、ZEB評価プログラムにおいて現時点では評価されていない技術。

## ZEB化のメリットとは

省エネによる温室効果ガスの排出と光熱費の大幅な削減以外にも、ZEB化による副次的なメリットがあります。

メリット	概要
快適性・生産性の向上	断熱・遮熱性能等の建物外皮の性能や、熱源設備等の性能が高いZEBであれば、エネルギー消費量を抑えながら、快適性や知的生産性といった居住空間の質をこれまで以上の水準に向上させることも可能です。
様々な価値の向上	ZEBへの取り組みは、自治体や企業などの環境配慮活動の一環としても位置付けることができます。ZEBに取り組むことが自治体や企業全体としての評価にもプラスの効果を与えることにつながります。また、環境認証を取得しているビルは新規成約賃料にプラスの影響を与えるとの調査結果も発表されており、建物オーナーにとってもZEB化にかかる初期投資費用を回収しやすくなります。
事業継続性の向上	太陽光発電設備等の創エネルギー設備や蓄電池を導入したZEBの場合、非常時でも一定のエネルギーを自給自足することができ、事業継続性の向上に役立ちます。また、創エネルギー設備を有していない場合であっても、建物機能の維持に必要なそもそものエネルギー需要を抑えることで非常時のエネルギー自立性の向上につながります。